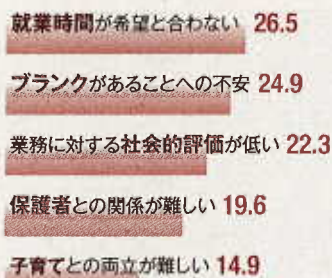


### 資格があるのに なぜ保育士をしない?



厚生労働省職業安定局「保育士資格を有しながら保育士としての就職を希望しない求職者に対する意識調査」(2013年)から

こう指摘するのは全国福祉保育労働組合(福祉保育労)の小山道雄・副中央執行委員長だ。福祉保育労に寄せられた「保育現場の声」には、自身の給与明細を添付する人もいた。例えば昨年11月分給与は、17年目の保育士で手取りが17万2862円だったり、19年目で16万6554円だったり。手取りが14万円余りの4年目の男性保育士は吐露する。

「結婚はできたとしても、暮らしているか考えるだけで頭が痛くなります」

川崎市にあるすこやか諏訪保育園の奥村尚三園長(55)もこう言う。

「大切な命を預かっているという責任と、子どもたちの心身の発達を支援する仕事の内容や量を考えると、現在の給与は見合っていない」

奥村園長によると、保育士た

ちは専門的知識を生かして子どもたちそれぞれの発達を支援する。遊びも指導計画に基づいていて、例えばお散歩一つにも狙いや目標があるという。さらに園児の様子から家庭の状況を察知し、子育てで孤立したり、精神的に不安定になったりしている保護者への支援も行うなど、難しい業務を行っている。保育の専門家として、これま



イラスト作成 伊藤 誠  
保育士の仕事は、子どもたちへの向き合いが大切で、向き合っている保育士は、保育士としての責任感や使命感を大切にしている。

都心から電車で1時間弱のベッドタウンに立つある保育園の朝は早い。開園は午前7時だが、6時45分の早番保育士の出勤を待ち構えたように、保護者に連れられた園児たちが登園する。保護者は替えのオムツや着替え、食事前用エプロンなどを定位置にしまい、保育士に子どもを預けると、駅に駆けていった。こうして午前8時前には在園する園児の3分の1の30人ほどが登園する。開園時間の午後8時までで最長で13時間、保育園で過ごす子どもも少なくない。

保育士になって10年目の女性は言う。

「待機児童問題が深刻になってから低月齢の乳児の受け入れが増え、体力的、精神的に重労働になりました。長時間保育の子どもたちも年々増えていて、保育士のローテーションもぎりぎりの状態。体調が悪くても休みたいと言ったのも気が引けます」

**トイレに行けず膀胱炎**

その女性は4歳児クラス18人の担任を一人で担当している。早番勤務のときは朝から息つく間もなく、補助の保育士が付いている時間帯にトイレに行こうと思うが、子どもに話しかけら

れたり、トイレに行きたいと言いつつ出ずたりして、我慢することも多い。トイレに行かずに済むよう水分を取らずにいたら、昨秋に膀胱炎になった。周囲にも膀胱炎に悩む保育士は多い。

「保育現場は余裕が全くありません。人の子育てを支援しながら、長時間労働なので自分の子育てがおろそかになってしまい、辞めていく人も多い。こんな職場で、子どもたちとちゃんと向き合えるのか、安全を守れるのかと、毎日自問自答しています」

今年2月、「保育園落ちた日

## 保育士が忙しすぎる【連載①】

# 書類に追われ ケガにビクビク



保育士のなり手が足りない。背景には低賃金と過重労働がある。長時間保育の子どもや低月齢の乳児が増え、保育士一人一人の仕事量も責任も増える一方。保育現場でいま何が起きているのか。

編集部 深澤友紀

せん。人の子育てを支援しながら、長時間労働なので自分の子育てがおろそかになってしまい、辞めていく人も多い。こんな職場で、子どもたちとちゃんと向き合えるのか、安全を守れるのかと、毎日自問自答しています」

今年2月、「保育園落ちた日

本死ぬ!!!」の匿名ブログで注目を集めた待機児童問題。背景にある「保育士不足」にもスポットが当たった。というのも、認可保育園では保育士の人数が「児童福祉施設最低基準」によって「0歳児3人につき保育士1人以上」などと定められていて、保育士が足りないといわれて、受け入れることができず、保育士不足による待機児童も各地で発生している。保育士の有効求人倍率をみると、毎年1月ごろがピークで2015年1月には2.18倍。東京は5倍を超えている。それだけ求人に対し、なり手が少ないことがわかる。

**19年目で手取り16万円**

保育士資格を持ちながら保育士として勤務していない「潜在

保育士」は国の推計で70万人以上いるという。厚生労働省が13年に実施した「保育士資格を有しながら保育士としての就職を希望しない求職者に対する意識調査」では、その理由として、半数近い人が「賃金が希望と合わない」と回答。他職種への興味「責任の重さ・事故への不安」が4割を超えた(55ページグラフ)。責任や業務の負担は大きいのに、賃金が安すぎるという不満が浮かび上がってくる。

厚生労働省の15年賃金構造基本統計調査によると、民間保育士の平均賃金は月額約21万3千円。全業種の平均(30万4千円)より約9万円低い。

これだけ売り手市場の保育業界なのに、保育士の賃金が増えない理由は、認可保育園の保育士の賃金が、政府の決める公定価格に左右されるからだ。保育所の運営費は国や自治体が支出する保育所運営費や補助金でまかなわれ、保育士の数も決められている。

「国が決めた基準があるので、賃金を上げることもできず、保育士の数も現場の実態を反映していないため、低賃金で過重労働になってしまう。深刻な保育士不足は国の政策の結果です」

では認可保育園の運営には常に保育士2人以上の配置が義務付けられていたが、国は保育士不足解消のため、今年4月から子どもの少ない朝夕に限り、保育士1人に加え、研修を受けた保育ママなど資格を持たない人による保育を認めるようにした。この規制緩和に対し、現場では「朝夕は異年齢の子どもを一緒に保育するのでトラブルが起きます。逆に専門性を備えた保育士の確保が必要」「無資格者ができる仕事だと思っただけで、ない」という反対意見も多い。

**毎日仕事を持ち帰り**

福祉保育労保育部会事務局長で元保育士の佐々木和子さんは

「自身の保育経験をもとに保育をする年上の無資格者に対して若い保育士が指示や注意をしづらく、ストレスが増えたり、一人で業務を抱え込んだりして負担が増えています」

保育士の過重労働の原因はほかにもある。まずは膨大な書類書きだ。都内の子育てサポートセンターで働く男性保育士(28)は、認可保育園で働いていた当時、国の「保育所保育指針」で定められた月案や週案などの指導計画や、日報にヒヤリハットの報告書、そして保護者への連絡帳などの書きものが負担だったという。行事の製作物も加わると、勤務時間ではとても終わらず、毎日のように仕事を家に持ち帰っていた。

食物アレルギーへの対応を必要とする園児や、集団に適應しにくい園児も増えていて、保育士たちのより細やかな対応も必要になってきた。

さらに、保護者対応も負担増の大きな要因だ。不当な要求をするいわゆるモンスターペアレントもいる。保育園のトラブルに対応するサービス会社「アイギス」の協賛社長は言う。

「自分の子を特別扱いしてほしいという親が増え、保育士の負担を増やしている」

例えば、「うちの子にはこれ

を必ず使って」と、特別な日焼止めクリームや虫よけ薬を預ける親や、「給食の調味料に食品添加物が含まれているかもしれないから」と持参した調味料を使うように求める親もいる。

東京の郊外にある認可保育園で働いていた女性(34)は、2歳児クラスの担任をしていたとき、ある女の子の母親に悩まされた。

**「服汚した」と親が苦情**

その母親は有名大病院に勤める40代の看護師で、子どもにブランドものの服を着せて登園させていた。絵の具や泥んこ遊びの日は事前に知らせているのに、母親は「どうしてラルフローレンの服を汚したのか」と弁償を求めてきた。園長が「面倒だから」と言いなりになって弁償すると、苦情はエスカレート。母親は気に食わないことがあると連絡帳1ページにぎっしり文句を書いてくるので、女性は毎朝その子の連絡帳を開くのが怖くなり、退職を決意した。その後、民間の学童保育などで働いたが、現在は専業主婦。保育士に復職する気はないという。

その女性が現場に戻らない理由は他にもある。事故への恐怖だ。一時保育の担当をしていたときに、床に置いた給食のスプーンに0歳児が手を突っ込んでやけどを負ったことがある。給



を保育士で「茶みけ」保育士グループの尾はるが、保育士のおおんやう

食の準備に追われていた中で自分のミスだった。肌は数カ月後にきれいに治ったが、いつケガをさせてしまうかとビクビクするようになった。

都心の繁華街の雑居ビル2階にある無認可の24時間託児所で6年間働いていた男性保育士(34)も「何かあったらどうしよう」と常に神経をすり減らしていた」と振り返る。

園長のほか2人の保育士で15人の子どもをみていて、男性が一人で異年齢の園児8人を近くの公園へ連れていき遊ばせていた。高熱の子どもに解熱剤を飲ませて預けていく母親もいて、途中具合が悪くなった園児を、連絡の取れない母親に代わって小児科へ連れていったことも。心身への負担は大きいのに時給はわずか900円だった。

前出の脇さんは警告する。

「保育園はリスクが過度に集中する場所です。でも園側も保護者側も危機意識が薄い」

### 名刺持ち「認められた」

例えば園での様子を保護者に伝える連絡帳。お昼寝中に書く保育士は多いが、実は昼寝時間は危険な時間帯。内閣府の発表によると、15年の保育施設での死亡事故は14件で、うち10件が睡眠中に起きた。脇さんは言う。

「死亡事故が起きる可能性が最も高いお昼寝の時間帯に連絡帳を書くなんて論外です。『ながら仕事』で注意力が散漫になり、保育士が連絡帳を書いている数十センチ先で子どもが亡くなる事故が繰り返されています」

### ある認可保育園の一日

- 6:30 早番の保育士が出勤、部屋の換気や掃除、登園の準備
- 7:00 開園。園児を預かる際に保護者から子どもの体調を確認するのも重要
- 9:00 園児に水分補給。乳児クラスはヨーグルトやビスケットなどの軽食も
- 9:30 一斉活動スタート。指導計画(年間、月案、週案)に基づき、子どもたちの発達に合った活動をする
- 10:30 遅番の保育士が出勤(勤務時間は19:15までで、プラス1時間残業)
- 11:30 食事。乳児クラスはまだ自分で食べられない子もいるので、食事の介助。はしの持ち方指導もする。食物アレルギー対応食の子も増えている
- 12:30 食事の片付け。昼寝の準備。幼児はパジャマに着替えさせ、寝る雰囲気づくりのために絵本の読み聞かせも。作業が多く、嵐のような時間
- 13:00 昼寝タイム。園児たちがうつぶせ寝にないか、呼吸をしているかなど10分に1度チェックし、表に記入する。また、お昼寝中に書類や保護者への連絡帳の記入など事務作業も行う
- 15:00 布団を片付け、テーブルを並べ、おやつ時間。早番勤務の保育士は15:30までだが、具合が悪くなった園児と別室で保護者を待つ場合や担任クラスでトラブルなどがあれば保護者への説明のためお迎えの時間まで残業する場合も
- 16:00 降園スタート。迎えの保護者に子どもの様子を伝える。保護者から相談や苦情を受けることも
- 19:00 延長保育で残っている園児に夕食(軽食)を食べさせる
- 20:00 閉園。まだお迎えに来ていない保護者がいるときは園児と待ち続ける
- 20:15 遅番の保育士の勤務終了。行事の準備や書類(月案、週案、日報など)の記入など仕事を持ち帰る保育士も多い

昼寝の時間や給食の内容、遊んだ様子などを細かく書いてもらうほど、保護者は保育園での子どもの様子がわかってうれしものだが、保育士が子どもをみる時間を削って書いていると考えたほうがいい。

このような中、保育士の働く環境を少しでも改善しようと取り組んでいる園もある。

首都圏を中心に12園を展開する「茶々保育園グループ」では保育士の社会的地位向上に取り組んでいる。今年4月からパパートも含めたすべての職員に名刺を持たせている。迫田健太郎理事長は言う。

「保育士はこんなにもプロフェッショナルな仕事をしているのに、名刺もなかった。子どもたちが一番近い社会人として、誇りと自覚を持ってもらいたいと思っています」

茶々おおいずみ保育園(東京

都練馬区)で主任保育士の尾又あゆみさん(32)は、名刺を持つた効果をこう話す。「社会人として認められた気がして、保育の質もますます上がっていかないと、思うようになりました」

### ソーシヤルな目線必要

同グループでは産休、育休、時短制度のほか、個人の事情に応じた時間固定勤務もでき、子育てしながらでも働き続ける職員が多い。5歳と3歳の子どもがいる尾又さんも、時短勤務を経験し、現在は固定勤務。時短勤務を経験したこと、それまで夕方以降にやっていた書類書きを日中手が空いたときにやるなど、効率良く働くようになったという。

神奈川県茅ヶ崎市のなぎさ第二保育園では、「保育園が単なる預かり所という認識のままでは

は保育士の処遇は上がらない」と、保育の現場をもっと知ってもらうために園の様子を日々写真に撮り、保護者に提供している。インターネット写真販売サービス「スナップスナップ」も利用し、保育士の仕事増にならないよう工夫する。柿澤秀旗園長(40)は言う。

「保育園の雰囲気は保育士で決まるんです。保育の力をもっと世の中に知ってもらいたい」前出の迫田理事長も、保育士と園児たちが遊ぶ様子を見つめながらこう言った。

「保育士たちは子どもたちの生きる力を引き出し、未来をつくらせている。素晴らしい仕事なのに、これまで私たち業界もそれを世の中に認めてもらう努力が足りなかった。これからの保育園にはソーシヤルな目線が必要で、もっと地域や社会に開いていかなければと思っています」